

# 虹のたより

コープおおいた機関紙

信頼される商品を食卓へ！



入協歴の浅い従業員を中心に、「ピースアクションinナガサキ」へ参加しました。被爆の証言では、爆心地から3.3kmで被爆された方のお話を傾聴しました。また、語り部の方にガイドいただきながら長崎の街を歩き、被爆した一本足鳥居や、平和公園や原爆資料館などを見学しました。戦後80年という節目に改めて原爆の悲惨さを学び、平和を願う時間となりました。

2025年 9・10月号

発行日：9月8日発行 (Vol.752)

発行：生活協同組合コープおおいた

大分県大分市青崎1-9-35

編集：総合企画部 広報課

お知らせやイベント情報をホームページで掲載！



7月19日(土) 参加人数:9家族34名  
高尾山自然公園 疎林の広場

## 「昆虫博士になろう！夏の昆虫観察会」



今年度初めて、高尾山自然公園にて夜の企画「昆虫博士になろう！夏の昆虫観察会」を開催しました。当日は17時過ぎから受付を行い、観察会が始まる前からお子さんたちは広場を元気に駆け回り、バッタやコオロギを見つけて楽しんでいる様子が見られました。

開会のアナウンスと注意事項をお伝えした後、大分市キャンプ協会の中内信孝さんに進行を引き継ぎ、まずは広場内の木を中心とした自然観察からスタートしました。観察中には羽化途中のセミなど、普段の生活では気づきにくい昆虫との出会いがあり、参加者は興味津々に観察していました。

自然観察のあとはバナナトラップを設置し、虫が寄ってくるのを待ちながら広場内での自由観察を実施。お子さんだけでなく保護者の方々も童心にかえったように夢中で虫を探す姿が見られ、親子の交流の場としても充実した時間となりました。

日が落ちたあとはライトトラップを点灯させ、光に集まる昆虫を観察しました。今回は残念ながら大型の甲虫には出会えませんが、参加者からは「とても楽しかった」と声が多く聞かれました。

今後も、親子で気軽に参加できる時間帯での企画を検討しながら、自然や環境に親しむ機会を継続して提供していきます。



4 質の高い教育をみんなに



15 陸の豊かさも守ろう

7月29日(火) 参加人数:16名  
J:COMホール大分

## 「大分県との子育て交流会」



大分県福祉保健部 こども未来課の堀典子さんより、大分県の子育て支援制度や子育てに役立つ情報についてご説明いただきました。その後、参加者は4つのグループに分かれ、「子育てで嬉しかったこと」「不安や悩み」「県の子育て支援に期待すること」などについて意見交換を行いました。同世代のお子さんを持つ保護者同士だからこそ、共感し合える思いや悩みを分かち合うことができ、グループワークは大いに盛り上がりました。

参加者からは、「同じママ同士で、さまざまな話ができて楽しかったです」「県の支援制度がこんなに充実していると、初めて知りました」「県の取り組みを知れたことや、グループ交流ができて、とても良い時間を過ごせました」といった、嬉しい声が多く寄せられました。



3 すべての人に健康と福祉を



5 ジェンダー平等を表現しよう



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



## 「おおいたっ子 Fukushima訪問ツアー」

コープおおいたは東日本大震災発生以降、ふくしま復興支援活動を続けてきました。

4年前から福島県新地町より大分県の子どもたちを福島県に招待したいというお話をいただき、今年も8月1日(金)～3日(日)の2泊3日で小学5・6年生17名が訪問しました。

7月21日(月)には出発前のオリエンテーションを開催し、今回訪問する児童は震災当時生まれていない世代のため、「東日本大震災とは」から説明し、顔合わせの時間を過ごしました。

訪問先の震災遺構では実際に津波が押し寄せた形跡を見て、語り部の方から震災当時のお話を真剣に聞き、質問などを投げかけていました。また、行程中は天候不良などで一部変更にはなったものの、モルックや花火、釣りなどの楽しいアクティビティも体験し、子どもたちは充実した時間を過ごしました。

コープおおいたでは【震災を風化させない】ために学習会や買い支えなどに取り組んでいます。今回の訪問では震災を知らない世代が見て、聞いて、学び、体験することができました。この企画に参加した子どもたちが、実際に体験した見聞を周りの友人や家族に広め伝えてほしいと願っています。



4 質の高い教育をみんなに



10 人や国の不平等をなくそう



17 パートナシップで目標を達成しよう



## 「能登っ子 大分交流ツアー」

能登地震や台風被害により屋外で遊ぶ機会の減った能登の子どもたちを7月21日(月)～25日(金)の4泊5日で大分県に招き、大分ならではの遊びや学びをしてもらうという企画です。NPO法人リエラさんが主催となり、コープおおいたは共催として23日(水)のコーディネーターとアテンドを担いました。

フンドーキン醤油ドレッシング工場ではたまねぎの皮むき体験と、グループに分かれて子どもたちだけでドレッシングを調合。「レシピにこだわらず、オリジナルにしたよ！」と笑顔を見せ、自分たちでつくったドレッシングで山盛りのサラダを完食していました。その後、大分大学で学生と交流し、OBSボウルで能登にはないボウリングをプレイし汗をかき、大分市内のお寺でBBQを楽しみました。大分のアクティビティや観光地を存分に体験し、能登に帰省することができたようです。



3 すべての人に健康と福祉を



17 パートナシップで目標を達成しよう

# 7月31日(木) 日田市 戦後80年 「第27回 平和のつどい」



戦後80年を迎えた本年、日田市民生活協同組合と生活協同組合コープおおいたで「第27回 平和のつどい」を合同開催しました。

日田市戦没者慰霊塔(パトリア日田横)で黙祷と献花により、恒久平和への祈りを捧げました。また、組合員より折り鶴をご提供いただき、三束の千羽鶴として献じることができました。

本行事は、約30年にわたり平和への願いを次世代へとつなぐ場として継続しています。



## 2025年度 第2回 産直認証商品

7月10日(木)に「2025年度 第2回 産直認証会議」がコープおおいた本部事務所で開催されました。認証された商品は以下のとおりです。

豊後大野市 五清同志会 甘藷	豊後大野市 五清同志会 里芋	国東市 古庄農園 温州みかん (極早生、早生、中生、普通)	国東市 古庄農園 中晩柑
大分市 園田農園 温州みかん (極早生、早生、普通)	大分市 園田農園 中晩柑	青森県 (株)青研 りんご	宇佐市 (株)安心院オーガニックファーム ベビーリーフMIX ミズナ、ロメイン、ほか全9種類 (季節に応じ4~5種以上をミックス)
豊後大野市 JAおおいた豊肥事業部 (全農パルライズ) 特別栽培米 ひのひかり (無洗米、玄米あり)	豊後大野市 JAおおいた豊肥事業部 (全農パルライズ) ひのひかり (無洗米あり)	九重町 JAおおいた西部事業部 (全農パルライズ) 特別栽培米 こしひかり (無洗米あり)	玖珠町 JAおおいた西部事業部 (エフライセンター) 特別栽培米 ひとめぼれ (無洗米あり)

### コープおおいたの産直野菜は産直認証マークで どれだけ農薬を削減されたかがわかります

栽培計画中の農薬の使用を確認し、産直品が行政が定めた慣行栽培基準に対してどれだけ削減されたかを、4段階にわけてマークで案内します。



## 8月7日(木) 参加人数:11名 CO-OPふらいる 2階 「ふらいるのおはなし会 ~夏スペシャル~」

今年度2回目となる「ふらいるのおはなし会」を、夏スペシャルとして読み聞かせグループ「オーマッシュ♡」と開催しました。

手遊びから始まり、絵本の読み聞かせや工作など、夏にちなんだプログラムを行いました。特に絵本『きんぎょがにげた』の読み聞かせでは、会場中に貼った金魚をお子さんに探してもらい、大変盛り上がりました。工作では、牛乳パックを使ったカスターネットづくりに挑戦。思い思いのデザインで仕上げたカスターネットを手に、最後は参加者全員で演奏を楽しみました。親子の笑顔が広がるひとときとなり、夏の思い出に残るおはなし会となりました。



## 8月2日(土) 国東市 「産直交流会inファゼンダ国東」

コープの産直牛を肥育している牧場「ファゼンダ国東」にて、コープの産直について知ってもらい、そして命の大切さを学ぶことを目的に産直交流会を開催いたしました。

牧場の見学では、生産者である浅井さんから説明をうけ牧場を回りながら、子牛から出荷するまでの過程や日々の工夫、実際に牛に触れ合うなどの体験をしました。また、コープの産直やエンカル消費について学ぶクイズも行い、楽しみながらより理解を深めることのできる機会となりました。

参加者からは「普段何気なく口にしている食品の背景について深く考えるきっかけになった」「感謝の気持ちを忘れないようにしたい」といった声をいただきました。

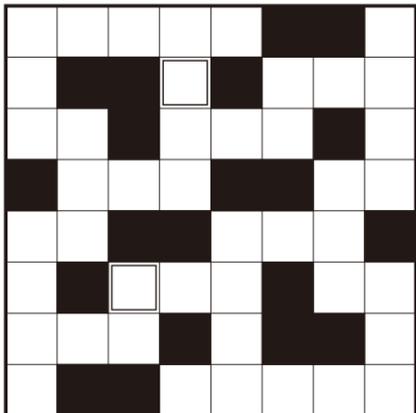


### 2025年4月から 7月までの リサイクル回収実績

古紙類の回収量 (牛乳パック・カタログなど)	卵パックの回収量	プラスチックトレイの回収量 (店舗のみ) [6月まで]	マイバッグ持参率	ペットボトルキャップの回収量 (店舗のみ)	集品袋・カタログセット袋の回収量	廃油の回収量 (店舗のみ)
349,400kg	2,449kg	702kg	86.0%	742kg	2,942kg	10,035ℓ

## PUZZLE ナンスケ

盤面に、リストのナンバーを入れるパズルです。交差するマスは同じ数字になるのがヒントです。



- ルール●
- リストにあるナンバー (2ケタ以上の数字のつらなり) をすべて1回ずつ盤面の中に入れてみましょう。
  - ナンバーの入る方向は、上から下か、左から右のいずれかで、1マスにつき一つの数字が入ります。



- 例題●
- |     |      |
|-----|------|
| 2ケタ | 3ケタ  |
| 13  | 314  |
| 21  | 424  |
| 22  | 442  |
| 23  | 4ケタ  |
|     | 1432 |
|     | 4231 |



パズル制作/ニコリ

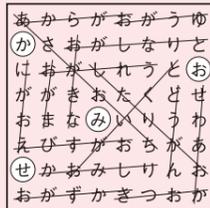
懸賞問題 二重枠のマス (2つあります) に入った数字の合計はいくつ?

〒870-0278 大分市青崎1-9-35  
コープおおいた「虹のたより」コープパズル係まで  
●eメール:niji@oita.coop  
●締め切りは10月10日(金) [当日消印有効]です。

専用フォームでの応募が可能となりました。  
郵便ハガキ・eメールでご応募も可能です。



## 7・8月号 シークワーズ 答え「かおみせ」



当選者は、下記に掲載しています。

### パズル・くらしの知恵袋 応募方法

郵便ハガキ、eメール、応募専用フォームに「パズルの答え」と①住所、②氏名、③年齢、④組合員番号 [組合員番号は8桁の数字で、組合員カード (Cataraカード)・注文用紙・納品書に記載しています。]、⑤『虹のたより』への感想や「くらしの知恵袋」などお寄せください。ペンネームでの記載をご希望の方は、あわせてご記入ください。いただきました感想や「くらしの知恵袋」を広報物に使用させていただくことがございますので、ご了承ください。なお、ご記入いただきました個人情報には他の目的で使用しません。パズルの正解者10名の方には「黒ごまアーモンドきな粉」をプレゼントします。正解者多数の場合は、抽選となります。「くらしの知恵袋」が採用された方には「麻婆春雨」をプレゼントいたします。

## くらしの知恵袋

木製のクリップに香水を少したらし車のエアコン口に差し込み、簡易的な芳香剤にしています。  
(竹田市:ゆっちゃんさん)

### 9月・10月の主なスケジュール

- 9/12(金) 産直認証会議
- 9/16(火) 常勤理事会
- 9/19(金) 組合員理事協議会
- 9/22(月) 組合員の声を活かす委員会
- 9/26(金) 理事会

- 10/14(火) 常勤理事会
- 10/17(金) 組合員理事協議会
- 10/20(月) 組合員の声を活かす委員会
- 10/24(金) 理事会

### 7月のコープおおいた

- 組合員数…191,474世帯  
生協に加入している世帯数です。
- 出資金…7,587,690千円  
出資をもとに生協の運営を行います。